【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2004-219014(P2004-219014A)
【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)
【年通号数】公開・登録公報2004-030
【出願番号】特願2003-9707(P2003-9707)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ２４Ｆ　1/00
　Ｆ１６Ｌ　5/00
　Ｆ１６Ｌ　57/00
　Ｆ２４Ｆ　5/00
【ＦＩ】
　Ｆ２４Ｆ　1/00　４３１Ｚ
　Ｆ１６Ｌ　5/00　Ｋ
　Ｆ１６Ｌ　5/00　Ｐ
　Ｆ１６Ｌ　5/00　Ｓ
　Ｆ１６Ｌ　57/00　Ａ
　Ｆ２４Ｆ　5/00　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月1日(2005.2.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　壁の貫通孔を通して壁外面に沿う姿勢で導出された可撓性配管類の屈曲部分を覆う状態で壁外面に固定されるコーナーカバーのうち、貫通孔に相対向する天井壁部に換気孔を形成するとともに、コーナーカバーの天井壁部の外面側には、二方向に向かって略Ｌ字状に開口し、かつ、天井壁部の外面と交差する姿勢にある一方の開口と換気孔とに亘る状態で天井壁部の外面との間に換気通路を形成する換気カバーが脱着自在に装着されているコーナー用化粧カバーであって、
　コーナーカバーとこれに正規姿勢で装着された換気カバーの両側壁部の一端部側との相対向する部位に、換気カバーの両側壁部の幅方向外方への弾性変形を阻止する変形規制手段が設けられているコーナー用化粧カバー。
【請求項２】
　前記変形規制手段が、換気カバーの両側壁部の一端部側とコーナーカバーの天井壁部との相対向する部位に形成された凹凸部から構成されている請求項１記載のコーナー用化粧カバー。
【請求項３】
　前記変形規制手段が、コーナーカバーの天井壁部の幅方向両側に突出形成された凸部と、各凸部に対して幅方向両側から係合可能な状態で換気カバーの両側壁部の一端部側に形成された下向き開口の凹部から構成されている請求項１又は２記載のコーナー用化粧カバー。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、換気機能を備えた空調用室内ユニットと空調用室外ユニットとの間に配設される冷媒管やドレンホース、換気ホース、電気配線等の配管類を室外側で覆う化粧カバー処理技術に関し、より詳しくは、壁の貫通孔を通して壁外面に沿う姿勢で導出された可撓性配管類の屈曲部分を覆う状態で壁外面に固定されるコーナーカバーのうち、貫通孔に相対向する天井壁部に換気孔を形成するとともに、コーナーカバーの天井壁部の外面側には、二方向に向かって略Ｌ字状に開口し、かつ、天井壁部の外面と交差する姿勢にある一方の開口と換気孔とに亘る状態で天井壁部の外面との間に換気通路を形成する換気カバーが脱着自在に装着されているコーナー用化粧カバーに関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
更に、前記換気カバーのうち、一方の開口と相対向する他端側、つまり、使用形態では上方側に位置する状態で装着される前壁部には、換気カバー内の換気通路に連通する第２換気孔が形成されている（例えば、特許文献１、２参照。）。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
【課題を解決するための手段】
本発明の請求項１による特徴構成は、壁の貫通孔を通して壁外面に沿う姿勢で導出された可撓性配管類の屈曲部分を覆う状態で壁外面に固定されるコーナーカバーのうち、貫通孔に相対向する天井壁部に換気孔を形成するとともに、コーナーカバーの天井壁部の外面側には、二方向に向かって略Ｌ字状に開口し、かつ、天井壁部の外面と交差する姿勢にある一方の開口と換気孔とに亘る状態で天井壁部の外面との間に換気通路を形成する換気カバーが脱着自在に装着されているコーナー用化粧カバーであって、
コーナーカバーとこれに正規姿勢で装着された換気カバーの両側壁部の一端部側との相対向する部位に、換気カバーの両側壁部の幅方向外方への弾性変形を阻止する変形規制手段が設けられている点にある。
上記特徴構成によれば、コーナーカバーとこれに正規姿勢で装着された換気カバーとを、熱収縮性フィルムによりシュリンク包装する際、熱収縮性フィルムの収縮力で換気カバーがコーナーカバーの天井壁部に押付けられても、コーナーカバーと換気カバーの両側壁部の一端部側との相対向する部位に設けられた変形規制手段により、換気カバーの両側壁部の幅方向外方への弾性変形を阻止することができるから、従来のように、換気カバーの両側壁部が幅拡大側に弾性変形され、それの少なくとも一方の側壁部の一端部側が、コーナーカバーの天井壁部の扁平状外面から落ち込んだ開拡状態のまま包装されることがない。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１２】
また、前記換気カバーのうち、一端側開口と相対向する他端側の前壁部に第２換気孔が形成されているとともに、前壁部の内面に、第２換気孔のコーナーカバー側の端縁又はその近傍位置に沿って一端側開口に向かって突出する垂れ壁が一体形成されていてもよい。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
上記構成によれば、換気カバーを、それの第２換気孔と一端側開口とが上下に位置する縦向き姿勢でコーナーカバーに装着することにより、高い換気性能を確保しながらも、上方の第２換気孔から入り込んだ雨水がコーナーカバーの換気孔に浸入することを、前壁部の内面に形成した垂れ壁によって抑制することができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、前記コーナーカバーの天井壁部に、換気孔を備えた換気筒部が外面側に一体的に突出形成され、この換気筒部の外面と換気カバーの内面とが密着状態で装着可能なテーパー面に形成されているとともに、前記換気筒部の先端面と換気カバーの天井壁部との相対向する部位には、コーナーカバーに対して換気カバーが装着されたとき、その装着方向から摺接して、換気カバーの内面との間でコーナーカバーを挟持する装着ガイド部が形成されていてもよい。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
上記構成によれば、コーナーカバーの換気筒部の外面と換気カバーの内面がテーパー面に形成されているため、換気カバーの装着作業を容易に行うことができるばかりでなく、換気筒部の先端面と換気カバーの天井壁部との相対向する部位に設けられた装着ガイド部の摺接に伴なって、換気カバーの内面との間でコーナーカバーを挟持して仮止め保持することができるから、コーナーカバーに対する換気カバーのビス止め作業を容易に行うことができる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、前記コーナーカバーの天井壁部が、壁外面に沿って配設される別の配管カバーの一端部が差し込み接続される接続端部よりも壁外面から離れる側に隆起形成されていてもよい。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
上記構成によれば、壁外面からコーナーカバーの天井壁部までの距離が、別の配管カバーに対する接続端部よりも隆起形成した分だけ大きくなるから、壁の貫通孔から壁外面側に導出された可撓性配管類の屈曲部分における折り曲げ許容範囲が広がり、作業性を高めることができる。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
本発明の請求項２によるコーナー用化粧カバーの特徴構成は、前記変形規制手段が、換気カバーの両側壁部の一端部側とコーナーカバーの天井壁部との相対向する部位に形成された凹凸部から構成されている点にある。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
また、前記コーナーカバーの天井壁部の隆起代が、これから外面側に一体的に突出形成される換気孔を備えた換気筒部の突出代と略同一又はそれよりも大に構成されていてもよい。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
上記構成によれば、コーナーカバーの天井壁部の隆起代と換気孔を備えた換気筒部の突出代とにより、壁外面からコーナーカバーの換気孔までの距離が大きくなって、壁の貫通孔から壁外面側に導出された可撓性配管類の屈曲部分における折り曲げ許容範囲が拡大するから、作業性を更に高めることができる。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
また、前記装着ガイド部が、換気筒部の先端面に形成されたビス止め用筒部と、これの外周面に摺接可能な状態で換気カバーのビス止め用挿通孔の外縁に沿って突出形成されたガイド突起から構成されていてもよい。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００２４】
本発明の請求項３によるコーナー用化粧カバーの特徴構成は、前記変形規制手段が、コーナーカバーの天井壁部の幅方向両側に突出形成された凸部と、各凸部に対して幅方向両側から係合可能な状態で換気カバーの両側壁部の一端部側に形成された下向き開口の凹部から構成されている点にある。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
【発明の実施の形態】
〔第１実施形態〕
図１～図７は、換気機能を備えた空調用室内ユニットと空調用室外ユニットとの間に配設される冷媒管１Ａやドレンホース、換気ホース１Ｂ、電気配線等の可撓性配管類１を室外側で覆うコーナー用化粧カバーを示し、壁２の貫通孔３に装着されたスリーブ４を通して壁外面２ａに沿う姿勢で導出された可撓性配管類１の屈曲部分１ａを覆う筒状の合成樹脂製のコーナーカバー５のうち、貫通孔３に相対向する天井壁部５Ｄに多数のスリット状の換気孔６が形成されているとともに、コーナーカバー５の天井壁部５Ｄの外面には、二方向に向かって略Ｌ字状に開口する開口部７ａ，７ｂを有し、かつ、使用形態では下方側に配置される一端側の開口７ｂ、つまり、天井壁部５Ｄの外面と交差する姿勢にある一方の開口７ｂとコーナーカバー５の換気孔６とに亘る状態で天井壁部５Ｄの外面との間に換気通路８を形成する合成樹脂製の換気カバー７が脱着自在に装着され、更に、コーナーカバー５とそれに対して幅方向中央位置を通る中心線同士が合致した正規姿勢で装着された換気カバー７の一端部側との相対向する部位には、換気カバー７の両側壁部７Ａの幅方向外方への弾性変形を阻止する変形規制手段Ａが設けられている。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３６】
前記変形規制手段Ａは、コーナーカバー５の天井壁部５Ｄの幅方向両側に突出形成された板片状の凸部１９と、各凸部１９に対して幅方向両側から係合可能な状態で換気カバー７の両側壁部７Ａの一端部側に形成された下向き開口のＶ字状の凹部１８とから構成されている。